

2



フォト

ニュース

1



2



3



3 認定農業者 215 名 新規に 9 名

5月14日(金)中央公民館大ホールで農業経営改善計画認定証と新規就農奨励補助金交付式が行われました。

農業経営改善計画は、農業経営の改善を図ろうとする意欲ある農業者が自主的に5年後の目標として作成するもので、新たに9名が認定され215名となりました。

また、昨年新たに農業に参入した9名に奨励補助金を交付いたしました。

参加者は、「少しずつ規模を拡大したい」「農業をやって良かったと言えるような経営にしたい」など今後の地域の農業を担う意気込みを新たにしました。

関係者らも「大崎の農業を盛り上げてほしい」とエールを送りました。

1 夏の風物詩！潮干狩り

大崎海岸では、潮干狩りを楽しむことができます。

4月29日(木)、潮干狩りに適した干潮時刻には、熊手やバケツをもった家族連れなど大勢の人々が集まりました。

採ったアサリは、味噌汁、酒蒸し、スパゲティなど、家に帰った後でも様々な料理で美味しく味わえ、『獲って楽しい』、『食べて美味しい』と二度楽しめます。潮干狩りは、自然の恵みを満喫できる楽しみ方です。

2 元気に帰ってきて！ヒラメの放流

5月12日(水)、中沖・野方小学校の4年生児童は、東串良町の柏原小と合同でヒラメの放流を行いました。

これは、東串良漁協がヒラメの減少を防ごうと行うもので、民間種苗センターで5ヶ月ほど育て10cmまで成長した約7,000匹のヒラメの稚魚を放流しました。

子ども達は、一列に並び「元気に帰ってきてね」と一声かけ、次々と放流しました。